

# 議会だより



白山市

第10号

2007

平成19年11月



「心と体の健康づくり」 ●写真提供：石川・白山御手洗多福かぼちゃ友の会

## 【目次】

平成19年9月定例会概要……………	2	常任委員会レポート・行政視察報告 ……	12
一般質問……………	5	子どもの声・編集後記……………	16

# 9月定例会概要

平成19年第3回市議会定例会  
9月6日(木)～25日(火)

9月定例会では、財政調整基金積立など補正予算案8件、条例案8件、事件処分案6件、諮問1件、人事案件1件、計24件を可決、答申し、議員提出の議会議案2件も可決しました。なお、決算の認定13件は次回の定例会までの継続審査となりました。

## 5億6870万円

## 財政調整基金に積立

一般会計総額8億6687万円の増額補正を承認

### ■補正予算案……………8件

一般会計においては、総務費では、コミュニティ助成事業補助金、地域振興事業費及び平成18年度決算剰余金の2分の1相当額を財政調整基金に積み立てるなど、5億7439万9000円が計上されました。

民生費では、障害者自立支援対策臨時交付金事業費、児童クラブ運営費など、4595万4000円が、農林水産業費では、新たな米政策推進事業費、高生産性農業集積促進事業費及び、いしかわ森林環境基金による森林環境保全事業費など、1618万円が計上され、商工費では、「白山菊酒」のブランド力向上を進める特産品推進事業費、内尾地区土地整理事業費、市営スキー場の民営化に係る運営委託準備事業費及び観光事業特別会計への繰出金など、2820

公債費（増額）	6,313万円
鳥越大日スキ-場に係る元利償還金（社会体育施設とするため観光事業特別会計からの事業費の組み替え）	

### 特別会計

介護保険特別会計（増額）	4,466万円
歳入	財産収入、繰越金
歳出	介護給付費返還金
墓地公苑特別会計（増額）	9,490万円
歳入	市債
歳出	竹松墓地公苑整備事業
観光事業特別会計（減額）	△6,420万円
歳入	県支出金、繰入金、市債、諸収入
歳出	鳥越高原大日スキ-場事業を一般会計へ移行（スキ-場指定管理料、リフト用消耗品等）
温泉事業特別会計（増額）	181万円
歳入	負担金、使用料、繰入金
歳出	ポンプ等修繕、漏水調査業務

下水道事業特別会計（財源振替）		
歳入	国庫支出金	1億54万円
	繰入金	△2,494万円
	市債	△7,560万円
湊財産区特別会計（増額）		114万円
歳入	繰越金	
歳出	基金積立金	

### 企業会計

水道事業会計（増額）	961万円
歳入	当年度分損益勘定留保資金等にて対応
歳出	監視設備更新設計、取水施設修繕工事

### 地方債補正

体育施設改修事業（辺地対策事業債）	6,630万円
農林水産施設災害復旧事業（災害復旧事業債）	840万円



社会体育施設へ機能転換する鳥越高原大日スキー場

万10000円が、土木費では、能登半島地震による被災住宅再建利子補給金制度の創設など、404万6000円が計上され、消防費では、消防団員の公務災害補償に係る組合負担金として、94万8000円、教育費では、鳥越大日スポーツ施設運営事業費、学校図書館支援センター推進事業費及び文化財保護事業費など、1億114万4000円が計上されました。

災害復旧費では、雪害や豪雨による林道、河川等の被害に対する復旧費として、3251万8000円が、公債費では、鳥越高原大日スキー場に係る元利償還金6313万1000円がそれぞれ計上されました。

また、特別会計においては、主なものとして介護保険特別会計では、介護給付費の精算に伴う返還金など、墓地公苑特別会計においては、竹松墓地公苑の第二工区造成工事費、観光事業特別会計ではスキー場指定管理委託料など、特別会計7会計で総額8792万3000円が計上されました。これらの予算案は、所管の委員会付託後、慎重審議の結果、すべて可決しました。

一般会計

歳入の主なもの

国庫支出金	689万円
県支出金	6,583万円
財産収入	276万円
寄附金	10万円
繰入金	109万円
繰越金	7億4,165万円
諸収入	△2,616万円
市債（借金）	7,470万円

歳出の主なもの

<b>総務費（増額）</b>	<b>5億7,440万円</b>
法政大学との事業協定による地域づくり	320万円
財政調整基金積立	5億6,870万円
<b>民生費（増額）</b>	<b>4,595万円</b>
障害者自立支援事業	4,015万円
公立保育所のあり方検討委員会経費	73万円

<b>農林水産費（増額）</b>	<b>1,618万円</b>
森林環境保全事業 (いしかわの森林環境基金による)	400万円
かが森林組合貯木場拡張等事業負担金	307万円
<b>商工費（増額）</b>	<b>2,820万円</b>
「白山菊酒」ブランド力向上補助金	500万円
市営スキー場民営化準備調査業務委託料	900万円
観光事業特別会計への繰出金	330万円
<b>土木費（増額）</b>	<b>405万円</b>
能登半島被災地住宅再建利子補給事業	30万円
<b>教育費（増額）</b>	<b>1億114万円</b>
鳥越大日スポーツ施設運営事業費 (社会体育施設とするため観光事業特別会計からの事業費の組み替え)	7,255万円
学校図書館支援センター推進事業	646万円
白山の世界遺産登録推進事業	180万円
問題を抱える子ども等の自立支援事業	135万円
<b>災害復旧費（増額）</b>	<b>3,252万円</b>
豪雨等による林道復旧工事費等（9路線）	2,866万円
土砂流出対策工事費	386万円

■ 条例案 ..... 8 件

主な条例案の内容

- ・ 白山市特別会計条例の一部を改正する条例  
観光事業特別会計のうち、鳥越高原大日スキー場を社会体育施設へ機能転換することに伴う条例
- ・ 白山市都市公園条例の一部を改正する条例  
バードハミング鳥越及びシーサイド松任の敷地を有料公園施設に追加
- ・ 白山市営住宅条例の一部を改正する条例  
市営くろゆり住宅が、「白峰温泉総湯・地域交流センター」の建設に伴い廃止となるため、関係規定を削除

■ 事件処分案 ..... 6 件

一般県道内尾口直海線改築工事の完成に伴い、旧県道部分を市道路線に認定しました。また、白峰温泉総湯・地域交流センター建設工事（建築工事）請負契約締結のための議決が求められ、可決しました。（他4件）

■ 人事案件 ..... 1 件

- ・ 人権擁護委員候補者の推薦に答申  
長島東雄さん（法仏町）

■ 諮問 ..... 1 件

- ・ 公の施設を利用する権利に関する処分についての審査請求に対する決定について答申

■ 報告案 ..... 4 件

財団法人未智之里、株式会社セイモア内尾、株式会社ツウワン白峰及び株式会社ピークスのそれぞれの経営状況について、地方自治法の定めにより、報告を受けました。

【意見書】

- ・ 教育予算の拡充を求める意見書  
きめ細かい教育の実現ために、教育予算の拡充を求める。
- ・ 道路整備促進に関する意見書  
道路整備に必要な安定した財源を確保し、遅れている地方の道路整備を計画的かつ着実に推進することを要望する。

決算審査特別委員会を設置

委員長／北川 謙一	副委員長／清水 芳文
委員／小川 義昭	南 清人
本屋彌壽夫	宮中 郁恵
宮中 郁恵	宮岸 美苗
撫子 順一	小島 文治
小島 文治	吉田 郁夫
菅木 進	前多 喜良
前多 喜良	岡田 俊吾
林 繁	水上 俊明

## 自治体健全化法

地方財政の深刻な赤字早期発見

2009年度より施行  
改革の期間はあと2年

行財政改革に早期着手が必要！

健全化法、行財政改革が急務となる白山市

**質問** 総務省モデルのバランスシートが作成されてきたが、総務省への報告の資料として作成され、自治

### 白山市独自のバランスシートの作成は

総務省モデルのバランスシートが作成されてきたが、総務省への報告の資料として作成され、自治

団体と健全化団体に指定することになった点が大きな違いである。

### 白山市方式のバランスシートができたらしい

**企画財政部長** 昨年9月に設置した公会計制度実務研究会にて検討を重ね、

**市長** 夕張市のように突然破綻を宣言する事態とならないよう、健全化判断比率の公表を義務付け、財政情報の開示を徹底した新しい財政健全化の4つの指標により、国が自治体を再生

### 現行の地方財政制度の問題点を是正する、重要な変更であった

以前にも増して必要性が高まってきている自治体独自のバランスシート、白山市は作成しないのか。

の現行法との大きな違いについてどう把握しているのか。

体間の比較には優れていたが、適時性、正確性や発展性に欠けるなどの問題点もあり、自治体では独自のバランスシートを作成する動きが広まってきている。自治体健全化法の施行に伴い

**市長** 現在、中期財政計画の見直しを行っており、財政健全化法の趣旨を念頭に、将来を見据えた予

### 財政健全化法の施行は平成20年度決算という

ことだが、来年度の予算編成から考慮していかなければならない。今後の予算編成時期に向けての方針、方向性はどうか。

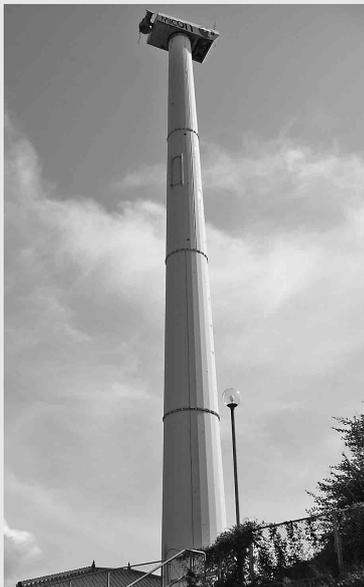
### 今後の公立病院が医師、看護師等スタッフを確保するには、労働環境を整備しなくてはならない。対策を考えているのか。

**質問** 財政健全化法の施行は平成20年度決算という

**質問** 今後の公立病院が医師、看護師等スタッフを確保するには、労働環境を整備しなくてはならない。対策を考えているのか。

**市長** 早期健全化基準、財政再生基準が今後定められ、基準を上回った場合、合併特例債を含めた起債発行の制限など、行政運営に大きく影響する。将来負担比率を健全にするため第三セクターの負債を減少しなければなら

**建設部長** 製造元は風車の羽根を製造しておらず、各メーカーに打診したが、安全性の確保が困難なため撤去したい。



「早く直してほしい」との声があったデンマーク製風車



村本 一則

### Q 自治体健全化法、職員への周知は

**A** 厳しい財政の認識も含めた中、法の周知を徹底する



竹田 伸弘

### Q C.C.Z.のシンボル、風車の羽根の修復は

**A** 安全性確保できず撤去する

**質問** 財政健全化法の成立により、一般会計や合併特例債なども含め、行政運営に影響があるのか。

算編成を行っていく。

**市長** 早期健全化基準、財政再生基準が今後定められ、基準を上回った場合、合併特例債を含めた起債発行の制限など、行政運営に大きく影響する。将来負担比率を健全にするため第三セクターの負債を減少しなければなら

**質問** 病院の医師、看護師等のスタッフ不足は、全体的に深刻な問題となっており。市内においては大丈夫か。

**市長** 今後、病院経営が一層厳しくなることから、地方公営企業法の「法の全適」を検討し、地域医療の担い手として取り組む。

**市長** 早期健全化基準、財政再生基準が今後定められ、基準を上回った場合、合併特例債を含めた起債発行の制限など、行政運営に大きく影響する。将来負担比率を健全にするため第三セクターの負債を減少しなければなら

**市長** 一部の診療科で不足しており、大学病院との連携により医師の確保に努める。

**質問** C.C.Z.松任海浜公園の破損している風力発電の風車の羽根を、早く直してほしいという地元の要望はどのようになっているのか。



清水 芳文

### 「まちなみロケーション」の活用を拡充せよ

**質問** 白山市が現在応募中の「まちなみロケーション」で採用された場所を映画、ドラマのほか、CMのロケ地としても活用せよ。また、市内の企業にはCMの制作費を助成するなどして活用を推進してはどうか。

**観光推進部長** 関係団体に対し積極的にPRし、利用促進を図りたい。

### 「白山」を地域ブランドに

**質問** 市の名称「白山」を使った施設名や商品名の普及を図りながら、「白山」を地域ブランドとして発信できる取り組みを図れ。

また、1997年に運行終了した特急「白山」を復活させ、首都圏と白山市を結び取り組みを開始せよ。



白山ブランドとして誕生した「白山菊酒」(シールと銘柄)

## Q 白山市から隣接地域への「めぐーる」運行拡大を図れ

## A 能美市や野々市町との接続、来年4月運行で協議開始

**産業部長** 白山ブランドを推進する事業団体等には、積極的に支援したい。また、列車の愛称「白山」については、適切な時期に対応を考えたい。

### 「めぐーる」の隣接地域への運行拡大を

**質問** ①美川地域から能美市や川北町を回る「めぐーる」の運行拡大を図れ。  
②野々市町「のっテイ」と白山市「めぐーる」を、自治体の区域を越えた相互乗り入れの運行拡大を提案する。

**市長** ①来年4月から両市のコミュニティバスが両市の境付近で接続できるよう協議を開始した。②今後の課題として、野々市町との協議を検討したい。



宮中 郁恵

## Q 学校給食費の滞納に連帯保証人制度を

## A 状況を見て判断

**質問** 保育料、小・中学校給食費の悪質滞納者が増えている。全国の認可保育園で、2006年度の保育料滞納が89億7000万円、約8万6000人の保護者が滞納している。小・中学校給食費では、2005年度で22億円を上回る滞納が明らかになった。理由は、保護者の責任感の欠如、規範意識の低下で、逃げ得は絶対許してはならない。

促、担当職員が家庭訪問等をし、納付を促してきえたが、効果が上がらなかった。自治体の事例があるが、考えは。

**教育部長** 食材費は給食費で賄っているのに、納めるのは当然。義務を果たさうとしない保護者は残念。

**健康福祉部長** 平成5年までは、高校生まで無料で実施。有効性の疑義、副反応の事故等により、平成6年度に予防接種法が改正された。インフルエンザ予防接種は、個人の判断で行う任意接種となる。

### 子育て家庭にインフルエンザ予防接種の助成を

**質問** 厚生労働省は、保育料滞納の保護者に対し、厳格な対応をとるよう通知を出したが、その対応を聞く。学校給食費滞納については、連帯保証人制度を設けてはどうか。

**市長** 本市の保育料滞納額は659万円に上る。これまで所長を通じて督促、担当職員が家庭訪問等をし、納付を促してきえたが、効果が上がらなかった。自治体の事例があるが、考えは。

**質問** 予防接種料金は保険適用外のため、全額自己負担である。2回接種を行い、1回3000円前後と高額で、兄弟がいる家庭は家計に大きな負担となり、受けたくても受けられないのが現状である。公費助成を



市内保育所の様子



北山 進

### Q 中宮温泉スキー場の 地域振興策は

### A 豊かな自然を生かした振興策 を協議していきたい

**質問** 林道は、現在旧自治体の予算や、維持管理方法を基に管理されている。これでは地域によって不公平が生じる。林道にも規格を設けて、白山市として統一した、維持管理をするべきではないか。

また、森林環境基金事業の事業現場へ至る林道整備状況はどうなっているのか。

**産業部長** 林道の規格の統一は林道の持つ特殊性などにより難しい。地域による不公平が生じないように管理方式の統一を進める。

森林環境基金事業の対象箇所への作業道となる林道整備は事業計画に合わせて整備する。

**質問** コミニティバスの運行を委託している事業者に国土交通省北陸運輸局の査察が入っている。白山市は市民に安心して利用して

もらえるよう、この事業者に安全管理に対する申し入れをしているのか。

また、利用者の少ない路線のデマンドバス方式や、高齢者のためにフリーバスシステムの導入を考えているのか。

**企画財政部長** 毎月の業務報告、半期ごとに車両の安全点検整備状況の報告を書面等で受け、確認している。

白山ろく地域でのフリーバス方式の導入は早く実現できるようにしたい。デマンドバス方式は検討する。

**質問** 今、行財政改革を進めているが、文化施設や、体育施設は、今後、統廃合を進めて行くのか。



今期から休止する中宮温泉スキー場

管理費用の状況、施設の必要性を踏まえて、今後検討する。

**質問** 今期から休止する中宮温泉スキー場は、地域の商工業者や住民にとって、生活に密着した大きな問題である。早急に地域振興策を講じる必要があるのではないか。

**観光推進部長** 新たな地域振興策は、地元の意見を尊重し、豊かな自然や素材を活用することも視野に入れ、今後協議を進めていく。



前多 喜良

### Q 税や料金の滞納額や 徴収対策を問う

### A 滞納対策委員会を設置し 徴収率の向上を図る

**質問** 市税、固定資産税、軽自動車税、国保会計保険税、保育料と給食費、上下水道使用料、市営住宅家賃、土地借地料等の税や料金の滞納額と徴収に対する取り組みを問う。納税は国民の義務であり、身勝手な人が得をする不公平さだけは、絶対放置してはならない。

未納の保護者は将来ある子供が知ったとき、どんな思いをするのか真剣に考えるべきである。徴収率アップをめざしコンビニでの納付ができないか検討を願う。

**市長** 現在、税、料金等の滞納総額は15億円となっており、国民の三大義務である納税は、必ず納めていただきたい。市民負担の公平、公正を図るため、また、不公平が生じないように、厳正に対処しなければならぬ。今後、市民の代表などによる滞納対策委員会を設

置し、徴収率の向上を図っていく。

**企画財政部長** 納税者の利便向上のため、コンビニ収納など検討を行っている。

**健康福祉部長** 保育料は、所長からの督促や職員の家門訪問を実施し、誓約書を徴収して分割納入の確約など、滞納整理に努めている。

**上下水道部長** 納付に応じない滞納者については、給水条例に基づき給水停止の予告を行い、給水停止を行っている。

**選挙管理委員長** 3年前の選挙と比較すると、投票者数において2888人増の8826人で、当日有権者の9・83%、1・49倍であった。市民交流センターでは、前回と比べ約2倍の5540人、鳥越支所では、1・2倍の337人となり、前半の8日間では83人で、1日10人程度という結果となった。本市では、どの投票所からでも投票できるシステム導入により、伸びたものと思われる。また、今回の期日前投票の期間短縮により、約300万円の経費縮減となった。

**質問** 参議院議員選挙における期日前投票所8力所のうち、6力所の投票期間16日間を8日間に短縮し、

### 期日前投票日の短縮の 成果は

経費縮減となった。



宮岸 美苗

## Q 子どもの医療費助成の拡充を

### A 来年度から中学3年生まで 広げる

**公立病院の産科医療**  
**質問** 産婦人科医師の将来にわたる安定的確保について市長の見解を聞こう。

**市長** 公立松任石川中央病院は、現在産婦人科医師1名体制だが、医師不足が深刻化する中、今後も医療体制の確保充実を図りたい。

救急の妊産婦は、かかりつけ医の有無にかかわらず受け入れており、心配はない。

## 病児保育の実施を

**質問** 公立松任石川中央病院での保育室設置が具体化された際には、一般を対象とした病児保育を実施せよ。

**市長** 保育室設置は、今後の病院運営の議論の中にもあり、設置されれば病児保育も検討する。

## 子どもの医療費助成

**質問** 来年度から、乳幼児の患者負担が3割から2割に制度変更される。これ

による市の負担軽減分を財源に、中学卒業まで助成を広げよ。

**市長** 来年度から、対象を中学3年生まで引き上げたい。

患者負担の制度変更で、一般財源は2300万円軽減される。中学3年生まで医療費助成をした場合、約2000万円を要し、財源としては賄えることになっている。

## 公園の設置を

**質問** 公園の設置を求め、声に応えよ。また、遊び場として、学校のグラウンドを開放できないか。

**建設部長** 公園設置の要望があるのは確か、町内会単位でのコミュニティ広場の整備事業で支援していく。

学校グラウンドの開放は、不審者対策のこともあり、ボランティアの活用を図りながら弾力的に運用していく。

## 緊急地震速報など

**質問** 保育所・学校・公共施設に、10月から実施の緊急地震速報の受信・伝達システムの整備をせよ。

**市民生活部長** 緊急地震速報のシステム導入は、今後全市域に、統一した防災行政無線の整備に併せて、調査・研究していきたい。

**質問** 保育所の耐震診断の進捗はどうか。

**健康福祉部長** 市の専門職員により、保育所の第一次耐震診断を実施しているところで、その結果を踏まえ改善計画を作りたい。

## 公立保育所の民営化

**質問** 民営化の意向と目的を市民に明らかにすべきだ。

**市長** 法人の方が、多様な保育ニーズに応えられ、国の補助制度も完備されているなどメリットが大きい。



石田 正昭

## Q 本市児童・生徒の学力レベルを示せ

### A 全国学力テストの結果を国の指導のもと、報告する

**質問** 心の教育についての所感を聞こう。

**教育委員長** 子どもたちに国、郷土を愛する心を培い、学力と規範意識を身につけた、健康でたくましい人間として育つよう、家庭教育や社会教育を推進したい。

**質問** 家庭教育についての認識を尋ねる。

**市長** 今日の家庭環境は複雑、多岐にわたっており、地道に取り組み、親が規範としての行動をとり、子どもに愛情を注ぎ、豊かな家庭環境をつくるのが大事である。子を持つ親を対象に講演会を開催する等、家庭の役割の大切さを啓発し、地域で助け合いながら、家庭の力を高める努力をしたい。

**質問** 厳しい財政をいかに乗り切るか。

**副市長** 既存事業の一部先送りや新規事業の平準化、事務費などの見直しにより、コスト削減を図る。一方で、自主財源の基盤強化を図る。

**質問** 「ゆとり教育」による本市の児童・生徒の学力低下はないか。レベルを示す資料は。

**教育長** 教育課程の編成や指導法を工夫、改善し、学力向上に努めている。子どもたちの学力などの評価は、保護者などによる外部評価も大切である。4月に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果は、国の指導に基づき、教育委員会で検討し、できる範囲で報告したい。

**質問** 森や自然環境の保全と利活用について聞こう。

**市長** 多様な自然と美しい景観を保存するとともに

に動植物の保護を図り、自然と人が共存できる環境づくりに努めたい。森林環境税を活用し、間伐事業、里山整備や植林・間伐体験などを通し、今後も事業の普及、啓蒙を図り、豊かな森林を守り、育てたい。

**質問** 屋敷林の保全と不用樹木の再利用を考えるとどうか。

**市長** 来々、石川県の景観総合条例制定の動向を見て、前向きに検討したい。樹木の活用については、今後の整備の中で、可能かどうか検討したい。





ごみ出しは分別して



小島 文治

**Q** ごみ処理費年間10億円  
ごみの減量化を徹底すべき

**A** さらに排出抑制、分別の  
徹底に向け、指導・啓発する

べきである。

**ごみの減量化、  
リサイクルを推進**

**質問** 一般廃棄物処理に  
は多額の費用を要するが、  
今後の取り組みを問う。

**市長** 「循環型社会」の  
まちづくりを推進するた  
めには、ごみの発生・排  
出抑制の促進、資源化の  
促進、環境負荷の低減化  
と適正処理が必要である。  
そのためには、市民、事  
業者との協働体制を構築  
し、より効率的で効果的  
なごみ処理体制を整える

**事業系ごみが増えている**  
**質問** 事業系ごみの分別  
排出について、一層の減量  
化を図るべきではないか。

**市民生活部長** 市内経済団  
体を通じ、分別排出を徹  
底するよう指導していく。

**容器包装プラの分別排  
出に異物の混入が多い**  
**質問** 容器包装プラスチック  
の分別排出の徹底化を。

**市民生活部長** リサイクル  
制度の定着に向  
けて、簡易洗浄  
や減量化を含む  
分別排出の徹底  
した啓発を図  
る。

**質問** クリー  
ンセンターへの  
剪定枝の搬入を  
抑制すべきでは  
ないか。

**質問** 「ミニコミュニティバス  
「めぐーる」の利用率が伸び  
ていない。改善すべき点は、  
企画財政部長 「めぐーる」  
の見直しは、運行実績や  
利用者の意見を伺いなが  
ら適時行い、見直しの中  
で利用促進策を実行し、  
運行経費削減に努める。  
市民の皆様にも「地域の  
足は自分たちが守る。」と  
の認識のもと、利用をお  
願いたい。

**市民生活部長** 破砕機や焼  
却炉の負担軽減も視野に  
入れ、造園業者等に対し、  
協力を呼びかける。

**ごみ堆肥化は地球温暖化  
防止・地産地消・食育**  
**質問** 事業系生ごみの堆  
肥化を推進せよ。

**市民生活部長** 民間企業の  
処理施設を活用し、公共  
施設を含めた生ごみの堆  
肥化を検討していきたい。

**質問** 子どもを守る自主  
防犯ボランティア団体の活  
動把握と現状は。

**市長** この活動が実を結  
び、市内では子どもの声  
かけ事業等が徐々に減少  
している。  
取り組んでいただいで  
いる皆さんに、心から感  
謝を申し上げるとともに、  
今後も活動の推進をお願  
いしたいと思っている。

**教育長** 現状、把握して  
いる団体数は、20小学校  
区、28団体、2600人に  
加入していただくよう  
余りいる。防犯の心得や  
保険加入については学校  
等にて行っており、28団  
体については保険に加入  
を出すことにしている。

**その他の質問**  
**質問** 森林環境税導入で  
の市のかかわりは。  
**市長** 間伐事業等、大変  
有意義な事業であり、積  
極的に推進したい。



ボランティアの活動と子供たちの登校風景



吉田 郁夫

**Q** 自主防犯ボランティア活動  
の状況と対応は

**A** すべての団体に委嘱・  
登録身分をきちんとする

さらに、現在把握してい

いる団体数は、20小学校  
区、28団体、2600人に  
加入していただくよう  
余りいる。防犯の心得や  
保険加入については学校  
等にて行っており、28団  
体については保険に加入  
を出すことにしている。

**質問** 美川地域における  
コミュニティバスの方策は。  
**市長** 利用動向を見て検  
討したい。

**質問** 湊地区の松くい虫  
対策は。  
**市長** 今後も、松くい虫  
対策や植林事業を推進し  
たい。

**質問** 森林環境税導入で  
の市のかかわりは。  
**市長** 間伐事業等、大変  
有意義な事業であり、積  
極的に推進したい。

**質問** 美川地域における  
コミュニティバスの方策は。  
**市長** 利用動向を見て検  
討したい。

**質問** 湊地区の松くい虫  
対策は。  
**市長** 今後も、松くい虫  
対策や植林事業を推進し  
たい。

**質問** 森林環境税導入で  
の市のかかわりは。  
**市長** 間伐事業等、大変  
有意義な事業であり、積  
極的に推進したい。

**質問** 美川地域における  
コミュニティバスの方策は。  
**市長** 利用動向を見て検  
討したい。

**質問** 湊地区の松くい虫  
対策は。  
**市長** 今後も、松くい虫  
対策や植林事業を推進し  
たい。

**質問** 森林環境税導入で  
の市のかかわりは。  
**市長** 間伐事業等、大変  
有意義な事業であり、積  
極的に推進したい。

**質問** 美川地域における  
コミュニティバスの方策は。  
**市長** 利用動向を見て検  
討したい。

**質問** 湊地区の松くい虫  
対策は。  
**市長** 今後も、松くい虫  
対策や植林事業を推進し  
たい。

**質問** 森林環境税導入で  
の市のかかわりは。  
**市長** 間伐事業等、大変  
有意義な事業であり、積  
極的に推進したい。



中西 恵造

## Q 地域の防災組織に支援を 求める

### A どのような支援が可能か 検討する

**質問** 市は自主防災組織の必要性を訴え、その結成を促している。

旧自治体にあった自警団活動費も合併時の申し合わせとして廃止するが、そのようなことで安全安心の町がつけられるのか。

財政がいかに厳しくとも、市民の防災活動を支援していくことこそ、安全安心の町づくりの基本と考えるが。

**市民生活部長** 財政事情が厳しい折、今後どのような支援が可能か検討していきたい。

**少子化対策を考える**  
**質問** 子育ては親の責任であるが、それがかなわなくなってきたとき、「安心して社会に任せなさい、お手伝いしますよ」と、心のよりどころを示していくことが大切だ。

安心して子育てできる白山市として、少子化対策への決意の証しとして「赤ちゃんポスト」のような取り組みはどうか。

**市長** 赤ちゃんが誕生すれば全家庭を訪れ、不安や悩みの相談に乗っている。児童相談所とも連携の方法をとっていく。

から23年で約8%の増としているが、もっと積極的な活動を求める。

「百姓が持ちたる国」として、歴史に名をとどめる白山ろくの裏に、来春、自動車道の全線開通が待っている。

世界遺産たり得る「霊峰白山」の地の香りの高さを形に示して内外に発信せよ。

**市長** 白山市特有の魅力ある観光資源をエージェントや旅館、民宿と力を合わせ、観光交流人口の拡大に向け、全国へ積極的にPRする。



大切なのは日々の訓練

## 観光推進の戦略を問う

**質問** 全国に白山の名を持つ神社は2716社もある。この数こそ「霊峰白山」が日本人の心の中に住まわしている証しだ。

観光交流の目標値を17年



観光バスが行き交う白山スーパー林道



小川 義昭

## Q 「文化創造都市宣言」と 『市民憲章』を策定せよ

### A まちづくりの大きな指針となるので策定する

## 文化行政について

**質問** 文化の振興は、都市の魅力高め、産業振興の

基盤である。都市の経済力、農業・工業・商業の振興は豊かな文化を育む原動力でもある。文化と産業は、都市の活力の両輪であり、文化と産業が連携・融合した「文化行政」を推進せよ。

**市長** 文化は人の心を豊かにし、地域社会のきずなとなり、都市の力、エネルギーとなる。「文化のないところに人は育たず、企業も集まらない」文化が町をつくとっても過言でない。

これから10年間の重要な課題として各施策を通して市民の文化意識の醸成と充実に努める。

**質問** 文化行政は総合行政である。文化行政を幅広く全庁的に取り組み、総合的の事業として浸透させ、一元的に推進するよう取り組

み、総合的の事業として、文化課、歴史遺産調査室は現行の教育委員会ではなく、市長部局に配置せよ。

**市長** 本年4月法律が改正され、文化財の保護に関する以外の文化に関することは自治体の長が管理、執行できるようになったので、今後、文化振興、観光振興を併せ持つ組織体制を市長部局でとれないか検討する。

**質問** 町並み、都市空間、産業、芸術・文化、市民自治を育て、開花させるような新しい都市・文化政策を、産業政策、都市計画、環境政策などと融合し、本市にふさわしい『文化創造都市宣言』を表明せよ。また、これからの地方行政や町づくりを考える上で最も重要なことは、正しい時代認識に基づき確固たる方向性を示してくれる哲学である。

「市民参加と協働」が、これからの白山市の新しい活力を生み、文化を基調とした町づくりの理念、哲学が市民の中に醸成され、町づくりの大きな原動力となる。『市民憲章』及び『文化創造都市宣言』は、任期中に策定したい。



松任駅前文化ゾーン



七尾市中島町「虫が峰風力発電所」



古河 尚訓

**Q 風力発電所の建設計画があるが行政責任はないのか**  
**A 反対の声もあり行政が中に入り話し合いを進める**

**風力発電所計画について**

**質問** 鶴来地区獅子吼高原一帯に大規模な建設計画がある。まずは行政責任がないのか問う。また景観や動植物の生態系破壊への懸念があり、まちづくりの基本にかかわる問題ではないか。

**市民生活部長** この施設自体は大規模であり、さまざまな検討が必要。地元

の意思統一が図られるよう、事業者や関係団体の間で十分な話し合いをしていただきたい。

**市長**

反対の声が出ているので、行政も中に入って話し合いを進めたい。私は、あえてあの場所ではなく、問題のない場所に移動すればよいと思う。

**少人数学級の扱いを再確認**

**質問** 教育長の6月議会答弁が、さまざまにとらえ

方をされている。再度1、2年生の少人数学級が基本であることを明言すべきだ。

**教育長**

1、2年生の少人数学級は、原則継続していきたい。しかし2年生では、当初からの懸念事項が生じたことから、来年度30人学級にするか、少人数教育の講師にするか、学校長の具申を十分に検討する。

**(再質問答弁)**

**教育長** 県からの業務が、どれだけ負担になっているか把握していないので聞いてみたい。

**健康問題**  
**教職員の勤務実態と**

**質問**

教職員の勤務実態

に改善の兆しが見られず、健康問題も深刻。文科省は昨年実態調査を行い、具体的な指示も出している。まずは白山市の学校衛生委員会を実働化せよ。また、無意味な報告書が、「子どもとかかわる時間」を奪っている。行政として具体的手だてを示せ。

**教育長**

一昨年立ち上げた衛生委員会は年1回開催し、今年も早急に開催する。報告業務については、市のものは見直し精選しており、県のものは教職員研修にかかわるものが多く、前向きに取り組んでほしい。



河原 秀昭

**Q 全国中学校スキー大会の経済的波及効果は**  
**A 白山市を広く全国にPRする効果も期待できる**

**質問**

平成20年2月、第45回全国中学校スキー大会が本市において開催されるが、本市として成功に向けての対応及び経済効果を示せ。

**市長**

選手、大会役員、引率者、保護者等総勢約2800人が当市へ来る。果として、選手団の宿泊代やリフト代、弁当代、お土産代、さらには、開催地となる白峰や尾口をはじめ、山ろく地域の温

泉施設利用などを総計すると約1億1500万円以上が見込まれる。また、成功に向けての対応については、平成18年度に実行委員会を立ち上げ、県、市、県スキー連盟、市スキー協会、中体連、地元、関係機関が一体となっており、将来的には、市の職員数を削減し、組織をスリム化する過程において、事務の一元化等についても検討していく。

**子ども部の新設について**

子ども部の健全育成

**質問**

子ども部の健全育成

**子ども部の新設について**

子ども部の健全育成



スキージャンプ台



スキー場看板



文教福祉常任委員会

公立保育所のあり方検討委員会設置

障害者自立支援対策について

**質問** 市内にオストメイト対応トイレは何力所整備されているか。

**答え** 市役所本庁2階、松任文化会館、松任図書館、市民工房うるわし、千代女の里俳句館、鶴来地域4公民館にある。今回、本庁1階、クレインに整備していく。

**意見** 順次、公共施設に整備を推進してほしい。

**質問** 障害者自立支援法が施行され、激変緩和措置が取られるが、福祉事業全般における受益者負担の考え方は。

**答え** 厚生労働省の施策によって市の方針も変わっていくが、どの施策を実施するかは、しっかりと選択をしていかなければならないと考える。

松任トマトクラブ空調設備について

**質問** 平成16年のクラブ建設時に、空調設備を検討しなかったのか。

**答え** 埋蔵文化財整備室として使用されていた建物を改修して1階を保育室として使用してきたが、児童数が倍増したため2階も常時使用することになり、結露防止のため整備する。

保育所について

**質問** 公立保育所全体の空調設備の整備方針は。

**答え** 空調設備は調理室と未滿児室は最優先で整備しているが、そのほかの部屋は今の財政状況では難しい。法人保育所は、ほぼ完備していると聞く。

**質問** 公立保育所のあり方検討委員会が設立された目的は。

**答え** 保育所経営の効率化を図り、市内の保育所の適正配置や統廃合、民営化等を検討する。あわせて多様化する保育ニーズに適切に対応できる保育所の体制づくりをめざす。

図書館電算システム統合について

**質問** 松任、美川、鶴来、河内図書館の図書情報システムが平成20年2月から統合されるが、今の図書カードは使えるか。

**答え** 新しい図書カードに交換することになり、統合作業のための休館スケジュールとともに広報等でお知らせするので、ご協力をお願いしたい。

オストメイト対応トイレとは

直腸がんや膀胱がんなどが原因で臓器に機能障害を負い、手術によって、人工的に腹部へ人工肛門や人工膀胱の排泄口(ストーマ)を造設した人のために特別な設備を備えたトイレのこと。次のようなマークが表示されています。



文教福祉常任委員会行政視察報告

去る6月26日から28日にかけて、奈良県橿原市、和歌山県世界遺産センター、大阪府箕面市を視察しました。今後の参考にしたいと思えます。

橿原市地域子育て交流支援補助事業

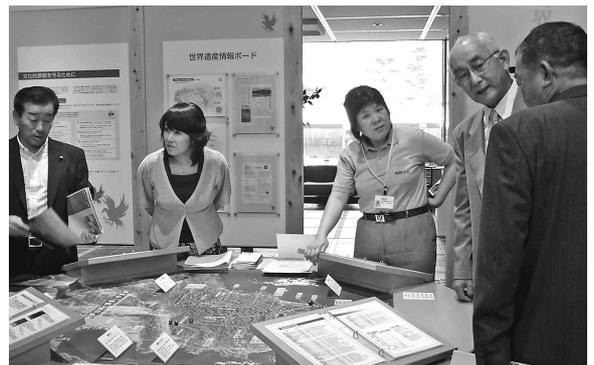
橿原市では育児サークルの会や絵本読み聞かせの会、お話の会など子育て支援に関する小さな団体やボランティアグループの活動を助成しています。

課題は、申請が少ないため、ほかの子育て支援事業との関連を図り周知することや、事業の対象者を幅広くとらえるようにして、新しい発想で地域社会の子育て支援の意識を高めていきたいということでした。

和歌山県世界遺産センター

「紀伊山地の霊場と参詣道」は、霊山や山岳信仰に加えて奈良県、三重県に広がる線状の参詣道や周囲の景観にコンセプトを置いて、平成16年7月に日本で12番目の世界遺産として登録されました。

登録後は、資産及び文化的景観を良好な状態で維持することが何よりであり、来訪者に対して紀伊山地の参詣道ルールの周知を図るとともに、世界遺産マスター制度を設けて、文化財保護活動を進められています。



和歌山県世界遺産センターを視察

箕面市自由な遊び場開放事業

箕面市は、青少年関係、幼稚園、保育所、早期療育、児童福祉関係の所管を教育委員会に一元化し、一貫した子ども施策を推進しています。

全小学校で、放課後の運動場、体育館、プレイルームを午後5時まで、児童の遊び場として開放しています。指導員が見守っている中で、児童は自主的・主体的に遊んでいます。

運営は、学童保育事業とともに社会福祉協議会へ委託されていますが、今後は放課後子どもプラン事業の趣旨を取り入れていきたいということでした。

# 生活経済常任委員会

## 森林環境税導入 市の状況は

### 内尾土地整理事業について

**質問** 合併前になぜ土地を整理できなかったのか。

**答え** 20年前のスキー場開設当時、旧河内村が造成費用を予算措置できなかったため、土地の賃貸によって施設を設置するための用地を造成した。土地所有者等と20年間にわたり売買について調整を進めてきたが、土地の登記等について、相続等の問題から土地を譲ってもらえない状況になかった。しかし、平成16年に土地組合等と土地の整理について同意が得られたため、以降登記の手続きを進め現在に至った。

### 森林環境保全事業について

**質問** 河原山町の柿の木は、「仏師ヶ野柿」といってこのあたりでも有名な柿の木だが、熊が出没するとの理由から伐採しなければならぬのか。

**答え** あくまでも、手入れ不足の里山を整備するための事業であり、河原山町については、希望があれば柿の木も剪定、伐採する。

### 特産品推進事業について

**質問** 特産品推進事業の内容の詳細を示せ。

**答え** 白山菊酒呼称統制機構が白山菊酒のブランド化を図った事業を先行しており、それに続くものを白山の特産品、食材の中で研究し、第2、第3のものをつくっていくという趣旨である。



重宝されてきた仏師ヶ野柿

機構では、さらに白山菊酒の認知度を向上させるため、外部の専門家、コンサルタン卜等の意見を聞き、発信方法についてウェブサイトを、パンフレット等をどのように作成しPRすればよいか検討しており、来年2月をめどに新しいウェブサイトを立ち上げ、パンフレット等の作成を行いたいと考えている。

## 生活経済常任委員会行政視察報告

去る6月27日から29日までの3日間、NPO法人エコ・ビジョン沖縄、行政と連携した環境教育プログラム等の開発を行っており、視察では、ごみ減量・リサイクル講座「買い物ゲーム」について説明を受けました。

### NPO法人エコ・ビジョン沖縄

同講座は県や那覇市の委託事業として、小学校4年生から6年生を対象として、模擬店舗でカレーの材料を買い物しながら、ゴミやリサイクル、「食」について考える子ども向け教育プログラムです。

これまでに1万2000人が受講しており、受講者からは短い時間でごみ問題を考え、環境に優しい消費者を育てるプログラムとして高い評価がなされています。

### 地域通貨を活用した男女共同参画事業（浦添市）

浦添市では男女共同参画のまちづくりを推進しており、住民基本台帳カードなどのICカードを用いた地域通貨「察度」を活用し、男女共同参画事業の周知拡大を図っています。仕組みとして事業に参加することでカードにポイントが得られ、その

ポイントで市に登録した約50社の協賛事業所の割引サービスなどが受けられることになっています。市は協賛事業所に対し、市のホームページや広報等で宣伝等の支援を行っています。

### 地球温暖化対策（那覇市）

那覇市では、電気による温室効果ガスの排出割合が約65%を占めていることから、節電は温暖化対策に寄与すると考え、一般家庭向けに「省エネライフエコカレンダー」を作製し配布しています。

これは、家庭のいたるところで取り組める省エネ行動を季節ごとに分類し、季節に合った省エネ行動を紹介しており、これ以外にも、カレンダー機能や光熱費の書き込み欄、省エネに関連したマメ知識欄を設けるなど、市民の興味を引くような工夫がなされています。



省エネライフ エコカレンダー

# 建設企業常任委員会

## 松任駅の南北をつなぐ道路の整備について

**災害復旧事業費の補正について**

**意見** 災害はいつ起こるかかわからないので、事前に危険箇所を把握し、当初予算から反映してほしい。

**松任駅周辺整備事業の効果について**

**質問** 金剣通り線の整備は必要か。

**答え** 駅の南北を車が往来する道路であり、区画整理事業の中でも重要な道路として位置づけられている。

**質問** 駅の南北をつなぐ自由通路は必要か。

**答え** 歩行者の往来を中心として考えており、バスやタクシー、乗用車の集積場として駅前機能を生かしつつ、駅周辺にぎわいを創出したい。

**質問** 駅の橋上化と自由通路の今後の計画は。



今後、計画されている金剣通り線と自由通路

**答え** 北陸新幹線の整備にあわせて土地区画整理事業と連携し、国及び県へ要望活動を行う。

**新たな工業団地の整備について**

**質問** キリンビール北陸工場に隣接して予定されている工業団地に調整池は必要か。

**答え** 現在実施している倉部川改修工事の内容により、必要でない場合もあり、その方向で検討している。

## 議会運営委員会行政視察報告

8月21日から8月23日にかけて埼玉県戸田市議会、福島県須賀川市議会、宮城県東松島市議会を視察研修してきました。いずれの議会も議会改革・活性化に取り組みしており、白山市においても、議会運営委員会で議会改革の取り組みを始めました。

**議会改革の取り組み (埼玉県戸田市議会)**

戸田市議会では、「議会改革特別委員会」を設置し、取り組んだ結果、①市民に開かれた議会とするため、常任委員会の一般公開②政務調査費の透明性を高めるため、領収書写しの添付③わかりやすく、白熱した論戦となるように、一般質問を一問一答方式に変更④議員定数の見直しとして1名削減などを行っていました。

**議会基本条例の制定 (福島県須賀川市議会)**

須賀川市議会では、地方分権時代に見合った議会運営とするため、これまでの「会議規則」や「委員会条例」等を整備し、新たに「議会基本条例」を制定しており、この条例は福島県内初であり、全国でも先駆けとなっています。また6月に「議会改革調査特別委員会」を設け、今後、議会活性化の調査、提言に取り組むとのことでした。

**議会活性化・会議条例の整備 (宮城県東松島市議会)**

東松島市では、「議会改革調査特別委員会」を設置し、新市としての議会のあり方について集中的に論議を重ね、政務調査費の使途の公表、本会議のインターネット配信、議員研修成果の公表など14項目について方向性を提言するとともに厳しい財政状況を踏まえ、議員報酬の3%削減を行っていました。また、合併後の初議会でも、会議条例を制定し、条例、規則の一本化による議会運営の体系化を図っています。



東松島市の議場を視察

# 子どもの声

「白山市になって」をテーマに  
美川地域の中学生から、ご意見をいただきました。



## 音楽があふれる文化的な白山市へ 新出愛さん（美川中学校3年）

私は音楽がとても好きです。そして、私が住んでいるこの白山市に、すべての人の心に音楽を届けられるようなイベントがあるといいなと思っています。音楽を通じて市民が一つになれるような大きなイベントを白山市につく

ってほしいのです。

たとえば野外で音楽祭を開催するなどです。多くの人が気軽に祭りのような感覚で音楽に親しむことができるようにすることで、市民も楽しく交流し合えるようになるのではないのでしょうか。

有名な演奏家の音楽会を白山市に誘致してもらえると、音楽はますます盛んになり、県内のみならず県外からも人が訪れ、市はさらに活性化し、豊かな町づくりができると思います。

また、白山市にも市民バンドを作ってもらいたいです。松任には世界的に有名な焔太鼓があります。市民バンドと焔太鼓を組み合わせ、白山市独自の新しい音楽を生み出すことだって可能かもしれません。

私は、市民が胸を張って「この町に住んでよかった」と言ってくれるような魅力的で明るい町に白山市がなってくれるといいなと思っています。そこに、少しでも音楽があるとうれしいです。



## 私たちが創る白山市 山崎紘彰さん（美川中学校3年）

手取川が日本海へと流れ込む、その河口に美川大橋が架かっています。美川大橋からは、JR北陸線の鉄橋越しに霊峰白山とゆったりと流れる手取川を同時に目にすることができます。そして、四季折々に変わるこの風景を僕はとても

気に入っています。

白山市を縦断するように流れる手取川は、その源を白山に有する川であり、石川県の由来ともなった川です。また、手取川という名前の由来は、まだ手取川が「比叡河」と呼ばれた時代までさかのぼります。源氏の猛将である木曾義仲が南下しようとしたときに、目の前に立ちちはだかった川が手取川だったので

す。木曾義仲の軍が手取川を渡るとき、流されないように兵士と兵士が手を取り合って渡ったと言います。また、昔から手取川の扇状地に住もう人々は、手取川から多くの恩恵を受けてきました。しかし、人々は暴れ川でもある手取川を決して押さえつけようとはしませんでした。人々は、手取川をうまく利用することで、共存してきたのです。私は、先人たちの自然への接し方に私たちが学ばなければならないものがあると思います。

私たちは、先人たちが守ってきた霊峰白山、そして白山を源とし豊かな水を与えてくれる手取川を大切にしていかなければなりません。そして、これからの白山市を担う私たち一人一人が互いに協力し合うことで、よりよい白山市を創っていかなければならないと思います。



## 美しい川を取り戻すために 小田綾乃さん（美川中学校3年）

私は、小学校三年生の時に、安産川（やすまがわ）のゴミ拾いをしたことがありました。その時の感想に次のように書いたことを、今でもよく覚えています。「私が大人になるころまでには、もっときれいな川にして、私の子どもに見せてあげられるといいな。」そのために、私たちは、ゴミを捨てないように呼びかける看板などを作りました。

しかし、現実はどうでしょうか。川は、以前以上にゴミがたくさん落ちています。川に生息する魚も減っているとい

う話を聞きました。そんな中、地域の人たちは、昔のような川が戻るようにゴミ拾いをするなど、さまざまな活動を行っています。川を汚しているのは、現代に生きる私たちなのだから、そのような活動にもっと参加する必要があると思います。ですが、その前に一人一人がゴミを捨てなければ、このような問題も減っていくのではないのでしょうか。

これからは、私たち若者も地域の人たちと協力して、以前の美しい川が戻るようにしていく努力が必要だと思います。そして、白山市の川が、将来、自信を持って自分の子どもに見せられるような川になることを願っています。

## 編集後記

本紙も創刊より数えて10号を発刊することとなりました。表紙を飾る写真につきましては、発刊当初、白山市の四季の風景を市民の皆様にご紹介しようと始めましたが、今回は少し趣を変えてみました。写真のかぼちゃは、石川・白山御手洗多福かぼちゃ友の会の相古誠一さんが丹精込めて育てたものであり、重さ327.8kg、今年9月30日に香川県小豆島で行われた第21回日本一どでかぼちゃ大会にお

いて、全国第4位（東海北陸第1位）の成績を取めたかぼちゃであります。編集委員会では、今後こういった記事を市民の皆様にご紹介していきたいと考えております。

※議会日より編集委員会では、白山市に関する表紙の写真を募集しています。詳しくは、当委員会までお問い合わせください。

〈編集委員一同〉

## 編集委員会

委員長：南清人 副委員長：小川義昭 委員：河原秀昭、竹田伸弘、北川謙一、西川寿夫

発行日／平成19年11月1日 発行／白山市議会 編集／議会だより編集委員会 事務局／白山市議会事務局庶務課  
〒924-8688 石川県白山市倉光二丁目1番地 TEL：076-274-9580 FAX：076-274-8510  
E-mail：gikai@city.hakusan.lg.jp ホームページ：http://www.city.hakusan.ishikawa.jp/



五紙配合率100%  
再生紙を使用しております。



この印刷物は大豆インクを使用しております。